

第1学年 英語科 学習指導案

奈良教育大学附属中学校 教諭 坂本 交司

1. 単元名 Lesson5 School Life in the U. S. A. —海外の学校生活について知ろう—

2. 単元の目標

- 現在進行形を活用して表現されている海外の学校生活について書かれた文について、理解し、自分の言葉で発信する技能を身に付けている。 (知識・技能)
- 日本での学校生活を紹介するために、海外での学校生活との違いや自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章で発信することができる。 (思考・判断・表現)
- 日本での学校生活を紹介するために、海外での学校生活との違いや自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章で発信しようとしている。
(主体的に学習に取り組む態度)

3. 単元について

(1) 教材観

本単元では、New Cown「Lesson5 School Life in the U. S. A」を教材として取り上げる。

文法事項としては現在進行形を扱う単元となっている。写真の中の人物が何をしているところなのかについて書かれている文章を読み、「(いま) ~しているところです。」という現在の行動をどのように表現すれば良いのか理解していく。その後、写真や動画を用いながら、その中の登場人物が何をしているところなのか写真/動画描写をできるようになっていく。

また題材としてはアメリカの学校生活が扱われており、アメリカでは多くの生徒がお弁当や給食ではなくカフェテリアにおいて昼食を取るなど日本での学校生活との違いについて知っていくことができる単元である。

(2) 生徒観

本学年の生徒は意欲的に物事に取り組もうとする姿勢が見られる。新しいことを学ぶことについても同様で、1学期初期の英語の授業において「Well-being」について学習をした際には自身の生活を顧みようとする姿勢が見られた。よりよい暮らしやより良い生活とはどのようなものか、ひいては豊かさとはどのようなものかについて英語で学習をし、理想的な学校生活について発表する機会も持った。しかしながら1学期の終盤頃から学習課題に追われ、時間の管理も疎かになり、2学期に入ってから寝る時間を削って学習や課題に取り組む生徒がかなり増加した。

またコミュニケーションという視点から見ると、入学直後は明るく自分のことをopen-mindedな姿勢で発表していたが、思春期に入ったことや中学校生活の影響からか自分について話すことのために見せるようになってきた。

今ここで再度、海外での学校生活と自身の学校生活とを比較しながら豊かな学校生活とはどのようなものかについて振り返り、そしてそれを他者に発表してみせることで心を開いて自分を表

現する機会を持たせたい。また世界には多様な価値観があり、国際的なつながりをもつことで自分の生き方の選択肢を増やすことが出来るのだと気づかせたい。

(3) 指導観

本単元ではまず、現在進行形の文のつくり方について気付かせ、学ばせる。海外の学校生活の様子を知ることのできる写真を提示しながら、「be 動詞+現在分詞」の形に慣れさせていく。

次に教科書本文を利用しながらアメリカでの学校生活と日本での学校生活の違いについて知っていく。GET Part1 では、アメリカの中学校では学校に通うためにスクールバスを利用すること、授業を自身で選ぶ制度になっており生徒によって時間割が異なることを学ぶ。次に GET Part2 では、生徒の多くはお弁当や給食ではなくカフェテリアを利用して食べること、人気メニューがメキシコ料理のタコスであるなどメニューの種類が国際色豊かであることを知る。そして USE Read では海外の人へのメールの書き方について知るとともに、放課後の活動はボランティア活動をする生徒にクラブ活動に取り組む生徒、職業体験に出向く生徒など、生徒によって過ごし方が実に多様であることを知る。USE Write の単元では日本の学校生活を紹介している文章に触れ、学校生活の紹介の仕方を知り、そして自身の学校生活について見ていく。

その後は自身の学校や学校生活について紹介するまとまりのある文章をノートに書き出す。そこにはここで一度、自身の学校生活の送り方について満足しているかそうでないかについて考えさせ、「My school days are ().」の形で表現させる。日常の生徒の様子や言葉から予想するにおそらく多くの生徒が「My school days are busy.」と表現するであろう。

そして自身の作成した内容に合った写真をクロームブックで撮影し、その写真と先に作成した文章を Padlet に投稿させる。ここで一日の学校生活ならびに放課後の過ごし方について可能な範囲で互いに open-minded に表現することで、ありのままの自分を表現する自由さとお互いのことについて知る楽しさを感じさせたい。またこの Padlet にはイギリスの Exeter Junior High School の生徒にも同様の内容について投稿してもらう。この中学校の生徒達はアメリカの中学校と同じく時間割を自分で作成し、そして放課後には様々な活動を行っている。中学生でありながらアルバイトの体験を積んでいる生徒もいる。重要な点は、「生徒達が自らの学校生活をより良いものにする」という観点のもと時間割や放課後の過ごし方を考え、選んでいる点である。「将来のためには数学が必要。だから数学を週に3コマ取っている」、「勉強も大切であるが同じくらい読書をしてゆっくり過ごすことも大切である」、「自分は週に一度は料理をする。ストレスの発散になる。」などの投稿が期待できる学校である。

最後に、イギリスの生徒達の投稿と自身の学校生活とを比較して再度、自分にとって理想的な学校生活について英語で記し、互いに発表し、最後には Padlet に投稿させる。授業の終わりには国際的な視野を持つことで、忙しさの中にも「なぜそれに取り組むのか」を考えさせる視点や「自分を大切にするために行動を起こすこと」の重要さをおさえたい。

(4) ESD との関連

・本学習で働かせる ESD の視点 (見方・考え方)

多様性…国によって学校制度もその中での人々の生活の送り方や考え方は多種多様であり、日本

で一般的とされる学校生活だけが正しく唯一の過ごし方ではない。
 連携性…多様な価値観を知り、受入れ、取り入れ、自身にとってより良い選択を行うためには、自
 国の人々のみならず他国の人々とともに生きていくことも重要である。
 責任性…自身の日々の生活の送り方は他者ではなく自身が作り出しているものであるということ
 に気づき、自らの人生のために責任を持って選択していくことが重要。

・本学習で育てたいESDの資質・能力

多面的・総合的に考える力

海外の学校生活にも日本の学校生活にも良い部分とそうでない部分がある。またそれは人によ
 って見方は異なる。様々な選択肢や価値観がある中で、自分にとって理想的な学校生活とはどのよ
 うなものなのかを考えようとする。

コミュニケーションを行う力

自分の気持ちや考えと向き合い、素直にそれらを伝えようとする。また他者からそれらについて
 語られるとき、耳を傾け、尊重しようとする。

つながりを尊重する態度

自身の築いた考え方や価値観を国際的な価値観の元で見直そうとする。

・本学習で変容を促すESDの価値観

人権・文化を尊重する

どれもが貴重で互いに学びを与える文化であることから、それぞれの文化を尊重し、誰もが自
 ら選択した文化のもとで生活を送れるような社会を築いていく。

幸福感に敏感になる。幸福感を重視する

自身が幸福を感じられるような生活を、責任を持って選んでいかななくてはならない。

・達成が期待されるSDGs

3 健康と福祉

17 グローバル・パートナーシップ

4. 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①現在進行形を用いて表現 されていることを、正しく理 解している。 ②現在進行形を正しく用い て、自身の考えや気持ち、学 校生活について自分の言葉 で発信する技能を身に付け ている。	①日本と海外の学校生活の 違いを考えることができ ている。 ②自身の考えや気持ち、学校 生活について、海外との比較 の観点から発信できている。	①日本と海外の学校生活の違いに ついて、意識的に知ろうとしてい る。 ②自身の考えや気持ち、学校生活に ついて、海外との比較の観点から発 信しようとしている。

5. 単元の指導計画（全6時間）

次	主な学習活動	学習への支援（・）	評価（△） 備考（・）
1	○現在進行形の肯定文 ・現在進行形の文章をリピート ・絵の状況を、現在進行形の文を用いて説明する ・日本の学校生活について現在進行形を用いて説明する 例：We are cleaning our classroom.	・現在進行形の文を提示しながら、海外の学校生活について紹介していく。同時に、日本ではどうかということについて尋ね、英語で即興的に説明させる。 例：In this picture, he is carrying a trumpet at school. Why? Do you play the trumpet at school?	△ア 1
2	○現在進行形の疑問文・否定文 ・海外の学校生活の写真を見ながら、何をしているところなのか尋ねていく。 ・Is he using a pen? ・Are they eating lunch? ・What are they doing? -They are teaching as a volunteer.	・日本の学校生活と海外の学校生活とで異なる文化を取り上げ、写真で提示していく。	△ア 1 △イ 1 △ウ 1
3	○Lesson5 GET Part1,2 ・教科書の写真と本文から、アメリカの学校生活では時間割を自分で組み立てる文化があることやカフェテリア文化があることを知る。	・発問によって気づきを促すようにする。 例：What is he carrying? Where is he eating lunch?	△イ 1 △ウ 1
4	○Lesson5 USE Read ・アメリカの中学生の放課後の過ごし方について知る。	・ボランティア文化についても取り上げる。 ・発問から本文理解度を確認する。	△イ 1 △ウ 1
5	○Lesson5 USE Write ・自分の学校生活を紹介するスライドを作成する。	・show and tellと現在進行形を用いる。	△ア 1 △ア 2 △ウ 2
6	○Padlet 交流 ・作成したスライドを投稿し、イギリスの学生が見られるようにする。 ・イギリスの学生の投稿から、日英の学校生活を比較して理想の学校生活に	・イギリスの学生が放課後の時間を大切にしていることを知り、自らの学校生活を見つめなおし、持続的に幸福度の高いideal school lifeについて考え、別の padlet に投稿す	△ア 2 △イ 2 △ウ 2

	について考える。	る。	
--	----------	----	--